

第 15-034 号  
2015 年 7 月 9 日

## ANA は、"新 BLUE WING プログラム 2015"を開始します

～「世界の社会課題」を SNS とインターネットの活用で、お客様と一緒に解決するプログラム～  
～今回より日本語サイトを立ち上げ、「マイル寄付」オプションを新たに追加～

ANA は社会課題を解決すべく、世界中で奮闘している社会起業家\*(チェンジメーカー)とお客様をつなぐ、第2回目の“BLUE WING プログラム”を本日より開始します。 \*ユニークな発想で、貧困や天災などの深刻な社会課題の解決方法を提示し、実行している人々。アショカ創設者ビル・ドレイトンが提唱した概念。

BLUE WING プログラムは、米国に拠点を置く世界最大の社会起業家ネットワーク、「アショカ」と協力し、ANA が Blue Wing(青い翼)となって社会起業家を応援するものです。国際社会が抱える様々な課題について、より多くのお客様に关心を持っていただくきっかけとなり、共感いただいたお客様は ANA と共に、気軽に活動を応援することができるプログラムです。

今回、英語サイトに加え、新たに日本語サイト(含む SNS アカウント)を立ち上げ、新たな社会起業家を選出したほか、お客様から社会起業家をサポートする方法に「マイル寄付」を追加しました。

ANA は「安心と信頼を基礎に世界をつなぐ心の翼で夢にあふれる未来に貢献します」というグループ経営理念のもと、世界のリーディングエアラインとして、世界の社会課題に真摯に向き合い、エアラインだからこそできる価値を本プロジェクトにて提供していきたいと考えています。

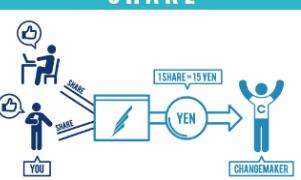
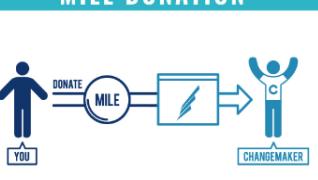
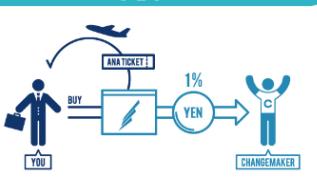
### 【新 BLUE WING プログラム 2015 概要】

1. 専用プログラムサイト: [www.ana-bluewing.com](http://www.ana-bluewing.com) (日本語・英語)

2. 期間: 2015年7月9日(木) ~ 2016年7月8日(金)

#### 3. 内容:

- ・ANA からの輸送協力のほか、お客様からの「SHARE」「MILE DONATION」「FLY」の3つのアクションを通じ、支援を行います。
- ・社会起業家は、自らの活動状況を BLUE WING SNS や自らの SNS などで積極的に発信します。

SHARE	MILE DONATION	FLY
 <p>Blue Wing サイトの記事を SNS*でシェアすると、1 シェアにつき 15 円相当を ANA から社会起業家に還元。</p> <p>*Facebook、Twitter、LinkedIn</p>	 <p>ANA マイレージクラブ会員の方を対象に、マイルで社会起業家を支援。1 口 3,000 マイルから寄付が可能。</p> <p>(実施時期: 2015 年 7 月 9 日 ~ 8 月 10 日)</p>	 <p>「FLY」を入り口に航空券を購入すると、航空運賃の 1%を ANA から社会起業家に還元。</p> <p>(実施時期: 2015 年 8 月下旬の開始予定)</p>

#### 4. 今回のリニューアル内容

- ・新たな社会起業家の選出(3名)
- ・日本語サイト(前回は英語のみ)および SNS の立ち上げ
 

BLUE WING Facebook(日本語・英語) : <https://www.facebook.com/anabluewing>

BLUE WING Twitter(日本語のみ) : <https://twitter.com/anabluewing>
- ・お客様からのサポートに、「マイレージ寄付」のオプションを追加

第1回目の“BLUE WING プログラム”は、2014年2月から半年間実施(ANANEWS 第13-157号、2014年2月5日)。

#### 5. BLUE WING が支援する社会起業家たち

			
<b>名前</b>	<b>ジョシュ・ネスピット</b>	<b>エリザベス・H・strand</b>	<b>アル・ハリス【新規】</b>
<b>活動名</b>	<b>メディック・モバイル</b>	<b>ビルド・チェンジ</b>	<b>ブルー・ヴェンチャーズ</b>
<b>活動概要</b>	<b>モバイルの力で途上国の医療を変えていく</b>	<b>すべての人が安全な家に住める世界に</b>	<b>自然と人が共存できるシステムを世界中の海へ</b>
	手頃な価格で拡張性の高いモバイル技術を使用して、携帯電話を使った医療難民と医療従事者をつなぐ医療支援を行う。 (2014年から継続)	発展途上国の耐震住宅を設計し構築するために、住宅所有者、建築業者、エンジニア、政府関係者の訓練を行う。 (2014年から継続)	海洋資源の枯渇が進むマダガスカルで保護区を設置。エコツーリズムや森林保存など新しいスキルと経済を持ち込み、漁師の生活を守りながら生態系を保全。

			
<b>名前</b>	<b>メル・ヤング【新規】</b>	<b>ジェイソン・F・マクレナン【新規】</b>	
<b>活動名</b>	<b>ホームレス・ワールドカップ財団</b>	<b>インターナショナル・リビング・ビルディング・インスティテュート</b>	<b>アショカ・ジャパン</b>
<b>活動概要</b>	<b>ホームレスの社会復帰に、サッカーの力を</b>	<b>自然エネルギーですべてをまかなう建築を世界へ</b>	<b>日本から社会起業家を発掘し支援</b>
	ホームレスによる国際的サッカートーナメント「ホームレス・ワールドカップ」立ち上げ。サッカーを通しホームレスに自信を与え、立ち直りを支援。	環境に配慮した、建設時に有害物質を出さない、廃棄物は出さない、自然エネルギーですべてまかなう、自給自足型建築を普及。	2011年の設立以来、日本から4名のアショカ・フェロー(社会起業家)を選出。若い世代の人材育成にも取組む。

以上

## 「アショカ」について

世界最大のソーシャル・アントレプレナー（社会起業家）のネットワークであり、利他的な目標のために活動するインベーダーから成り立つ組織。米ワシントンの本部と世界 34 カ国に運営支部を持つ。「ソーシャル・アントレプレナーシップ（社会起業）」は、社会福祉とビジネス起業という、相反する基準やアプローチを持つ二つのセクターを融合させることによって、社会の歪みはよりスピーディーに能率よく改善されるという発想から 1970 年代にできた概念。この概念の生みの親であるビル・ドレイトンはこの概念を実際の目に見える活動として押し進めるため、その活動の運営母体としてのアショカを 1981 年に米ワシントンで立ち上げた。以来 33 年間に約 3,000 人のアショカの定義にかなった社会起業家（アショカ・フェロー）を 80 カ国から選出している。アショカ・ジャパンは東アジアで始めての拠点として 2011 年に発足し、2014 年までに 4 人のフェローが選出されている。

『アショカの支援した著名社会起業家』

ムハンマド・ユヌス…グラミン銀行創設者。ノーベル平和賞受賞者。

ジミー・ウェールズ…Wikipedia 創業者

